

I 多摩市の図書館

1 令和5年度の多摩市立図書館

(1) 主なできごと

・中央図書館の開館

令和5年3月の竣工・引き渡し後、4月から開館準備に取り組み、7月1日、ついに多摩市立中央図書館が開館しました。本館は令和5年5月7日をもって閉館しました。

開館当日はあいにくの雨天でしたが、開館式典後の開館は記念講演等もあったことから、多くの来館者で賑わいました（7月1日：11,135人、7月2日：10,898人）。その後も、中央図書館は連日多くの来館者があり、開館後9ヶ月（7月～3月）で70万人（711,023人）を超える来館者数を記録しました。

また、多摩市立中央図書館の整備事例、環境配慮型の建築（ZEB）等の先進的な取り組みを参考にしたいとする自治体など多くの行政視察も受け入れました。

※詳細はP.91（V 中央図書館の整備）をご覧ください。

・中央図書館開館に向けての準備

中央図書館開館に向けて、令和4年度に引き続き中央図書館用資料の購入を行いました。また移転準備のため令和5年2月より段階的に本館の予約・リクエストサービスの制限を行いました。中央図書館開館に向けて機運を醸成するため、令和4年12月から令和5年1月にかけて市民に本館閉館・中央図書館開館イベントのアイデア募集を行い、56件のアイデアが寄せられ、その中から本館閉館イベントとして5件、中央図書館開館記念イベントとして13件を、応募した市民との協働で実施しました。また、本館閉館や中央図書館開館のPRのため、市公式SNSでカウントダウン写真を投稿しました。また、本館閉館日までの日数にちなんだ本の展示、本館の思い出や中央図書館でやりたいことなどのメッセージを募集し、掲示しました。

※詳細はP.91（V 中央図書館の整備）をご覧ください。

・開館50周年記念イベントの開催

令和5年8月に多摩市立図書館が開館50周年を迎えたことから、10月から12月にかけて開館記念イベントとして講演会などのほか、市民協働でイベントを実施しました。市民協働のイベントは中央図書館開館記念イベントとして応募されたアイデアの中から10件を実施しました。

・障がい者サービスの拠点館の変更

永山図書館開館以来、永山図書館で行ってきた障がい者サービスの拠点機能を、令和5年7月以降は、中央図書館に移しました。

・図書館活動室の運用の見直し

中央図書館、関戸図書館にある活動室の利用対象をこれまでの図書館支援活動や読書推進活動を行う市民団体に限定してきたのを、様々な市民活動を推進する場となるように運用を見直しました。

・ネコサポステーション図書返却サポートサービスの終了

令和2年3月から開始した図書返却サポートサービスについて、ヤマト運輸株式会社から終了の申し出があり、双方間で協議のうえ同サービスは令和5年4月30日をもって終了しました。

(2) 主な統計データ

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減	増減割合
蔵書数（点）	794,754	816,021	21,267	2.7%
資料購入費（円）	82,991,877	84,594,682	1,602,805	1.9%
個人貸出点数（点）	1,463,830	1,607,207	143,377	9.8%
多摩市の人口（人）	148,107	147,751	△356	△0.2%
市民1人あたりの貸出点数（点）	9.9	10.9	1.0	10.1%
登録者数（人）	42,183	53,833	11,650	27.6%
予約件数（件）	472,217	491,144	18,927	4.0%
団体貸出冊数（冊）	20,236	18,704	△1,532	△7.6%

※蔵書数、登録者数は令和5年度末現在の数値

※資料購入費は中央図書館用図書購入分を含む。

※人口：令和4年度は令和5年4月1日現在、令和5年度人口は令和6年4月1日現在

※登録者数について：令和6年3月に、「利用者データメンテナンス」（利用者カードによる貸出及び予約（電子図書館を含む）が2年以上行われていない利用者登録を利用停止状態にすること）を行った。

(3) 令和5年度 主な事業

5つの運営方針に基づき重点事項を決め、新規・レベルアップの事業・取り組みの年間計画を立て、実施しました。

運営方針1 だれもが使える図書館

※○が重点事項

【実施内容】

○乳幼児を連れた保護者がより図書館を利用しやすくする

- ・中央図書館の2階フロアをおしゃべりや読書が楽しめる広場系開架と位置づけ、親子で利用しやすいよう児童書と暮らしに身近な分野の一般書やCDなどの視聴覚資料を近くに配置するなど工夫しました。

○若年世代（10代後半から20代）の利用を促進する

- ・中央図書館に様々なタイプの閲覧席のほかグループ学習ができるラーニングコモンズやグループ研究室を整備し、ラーニングコモンズ付近にティーンズ向けの雑誌や図書を配置しました。

- ・ 関戸図書館や永山図書館、東寺方図書館では、中央図書館に参考図書や新聞縮刷版を移すことにより空いた書架を活用し、ティーンズ向けの雑誌や展示などの配架場所や掲示を工夫し利用促進を図りました。

○誰もが図書館を利用できるよう、高齢者や障がい者、多様な文化を持つ人々へのサービスに努める

- ・ 日本の絵本で外国語に翻訳された絵本や英語多読用の資料を購入し、外国語資料、外国語学習資料の充実を図りました。英語多読や外国語学習資料は電子書籍も購入し、充実を図るとともに外国人向けの広報紙に電子書籍を含む外国語資料を紹介する記事を掲載しPRしました。
- ・ 中央図書館に新たに対面朗読室や多目的室、録音室を整備するとともに、永山図書館から移管した障がい者サービス資料を開架に配架し、利用しやすくしました。

運営方針2 子どもの読書環境の整備

【実施内容】

○第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進

- ・ 令和4年度アクションプランの振り返りとプラン改訂を実施し、令和5年版を作成しました。またアクションプランを図書館内、関係課、市立小中学校で活用し、各施策の計画的な推進を行いました。
- ・ ブックリスト「よんでみよう！」について、令和2年度の1，2年生、令和3年度の3，4年生、令和4年度の5年生の改訂に続き、6年生の改訂を行いました。
- ・ 第15回子ども読書まつり《ほんとふえスタ》は7～8月と3月に分けて行い、7月には、開館記念イベントとして講演会を実施しました。

○支援の必要な子どもたち向けの資料の利用を促進する

- ・ これまでも各館にLLブック、マルチメディアデージー図書等を集めた棚を設置してきましたが、令和5年度からは、全館統一で「りんごの棚」として充実させ、だれもがいつでも手に取れるよう整備しました。

運営方針3 市民や地域に役立つ図書館

【実施内容】

○読書活動をおこなう団体がより図書館を利用しやすくする

- ・ 市内小中学校の支援として行っている「調べ学習」の本の選定を行いました。また、施設の運搬の負担を軽減し、利便性を高めるため市内学童クラブや児童館を対象とした「セット貸出」を継続するとともに、令和5年度からは、市内の保育園、幼稚園を対象に「セット貸出」を新たに開始しました。

○イベントや展示を実施し、新たな本との出会いを提供する

- ・ 新たな本との出会いの場を提供する読書活動振興のための取組を行いました。
令和5年度に取り組んだ内容は次のとおりです。

1) 「中央図書館ミニ仕事体験&バックヤードツアー」の実施

読書活動推進・啓発事業の一環として、図書館への関心・理解を深めるため、中央図書館

のバックヤードを案内するとともに、分類から本を探したり、カバーかけ（ブッカー処理）などの仕事を体験するイベントを実施しました。

2) 本の福袋等の年始イベントを実施しました。

3) 「高齢者のための図書館カフェ～自分に合った特別な本を見つけよう～」の実施

高齢等を理由に図書館利用から遠のいている方の図書館利用促進を図るため、参加者が興味のある事について話したり、本を探して借りたりするイベントを実施しました。

4) ビブリオバトルの実施

おすすめしたい本を紹介するビブリオバトルを中央図書館で中高生部と大学生から一般までの部を対面で4年ぶりに開催しました。

運営方針4 しらべるを支え、つなげる図書館

【実施内容】

○地域課題に合わせた企画展示を庁内各課などと連携し実施する

- ・各課から募集したテーマ（「平和展」「アイスランド」「税」などの行政課題）を企画展示として取り上げました。令和5年度は19課から希望があった39のテーマで企画展示を行いました。

○地域や個人の課題を解決するため、レファレンスサービスの充実を図る

- ・中央図書館の開館を機にオンラインデータベースの充実を図るため、新たに経済情報や雑誌記事や学術論文などを検索・閲覧できるデータベース、クラシック音楽を聴くことができるデータベースなど5データベースを新たに令和5年度から導入しました。
- ・令和5年10月から、図書館ホームページからのレファレンスを受付けるサービス（WEBレファレンスサービス）を開始し、13件受け付けました。

運営方針5 弾力的な管理・運営

【実施内容】

○中央図書館の開館に合わせ IC タグ関連機器の導入、職員体制の見直し、円滑な運営

- ・令和5年度は、旧本館を5月7日に閉館し、引越し作業、開館準備を進め、7月1日に中央図書館が開館しました。また中央図書館の開館にあたっては、新たにセルフ貸出機やセルフ返却機、予約受け取りコーナーなどのICタグ関連機器を導入、開館時間等が延長するのに伴い職員体制を見直し組織改正を行うなどし、円滑な運用に努めました。

※詳細はP.91（V 中央図書館の整備）をご覧ください。

○本館閉館・中央図書館の開館に向けてのPR

- ・本館閉館や中央図書館開館のPRのため、市公式SNSでカウントダウン写真を投稿、本の展示、本館の思い出や中央図書館でやりたいことなどのメッセージ募集を行い展示したほか、本館や中央図書館の紹介動画を撮影し、市の公式チャンネルで公開しました。

○図書館本館閉館・中央図書館開館イベント・開館50周年記念イベントを市民協働で実施

- ・本館閉館イベント、中央図書館開館イベント、開館50周年記念イベントを、多摩市在住・在勤・在学の個人と、主たる活動の場が多摩市内の団体、もしくは団体を構成する方の半数以上が多摩市に在住・在勤・在学している団体から募集し、図書館と協働で実施しました。